

玉野市立図書館における 子どもの読書活動推進の取り組み

玉野市立図書館・中央公民館
Tamano City Library & Community Learning Center
★センター★

玉野市の概要

誰もが行ってみたい、住み続けたいまち
～たまたで育つ、TAMANOが育つ～



玉野市は1940年に宇野町と日比町の合併により誕生しました。岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた風光明媚で温暖な気候の港町です。

※令和16年4月30日時点の人口：55,412人
学校数は小学校14校、中学校7校、市立高校2校（県立高校2校）
学校サポートスタッフなどの配置等で学習環境づくりを進めています。



玉野市立図書館のご紹介



『玉野市立図書館・中央公民館』は、新たな“まちの賑わい創出拠点”として、2017年4月1日にショッピングモール メルカ2Fに移転リニューアルしました。

約4,200㎡にも及ぶ図書館内にギャラリー、研修室、料理実習室、和室などの公民館機能が点在し、“たまのミュージアム”も併設した全體的にも新しい「図書館と公民館が融合した施設」です。

玉野市立図書館の特徴

運営の基本方針

新たな“まちの賑わい創出拠点”
“「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」”
“誰もが訪れたいくなる施設”

約4,200㎡のフロアの内、図書館部分は2,260㎡、児童開架370㎡、常時利用可能な「おはなしのへや」28㎡を備えています。誰もが気軽に訪れ利用しやすい施設を目指し、多くの開架図書と広い通路、「ママともコーナー」も設置しています。



- おはなしのへや
- ママともコーナー
- 自然発着型・予約制
- インテラクティブプロジェクション
- 図書検索機：LIVA（リヴァー）
- せせらぎ室内ヒートマップ

玉野市 子どもの読書活動推進の取り組み

○令和3年3月策定「第4次玉野市子ども読書活動推進計画」で実行する3つの取組

- 1 家庭・地域・学校等が連携した読書習慣の定着の推進
- 2 ボランティアなどと協働した読み聞かせの推進
- 3 読書推進につながる家庭教育の支援

○第4次計画推進のための施策

- 1 家庭・地域における読書活動
- 2 学校等における読書活動
- 3 市立図書館における読書活動
 - (1) 子育て世代・乳幼児向けサービス充実
 - ・親子が楽しむ読書環境の整備、家庭での読書推進の支援 など
 - (2) 子ども向けサービスの充実
 - ・おはなし会の充実、「子ども向けとしよかんだより」等の充実 など
 - (3) デイケア等による読書活動の推進
 - ・実習を促すための取組、中学生からの情報発信の推進 など
 - (4) 学校および各施設、関係団体との連携強化
 - ・各施設との情報交換、交流の推進 など
 - ・ボランティア団体等との連携、ネットワークの強化 など

玉野市立図書館での取り組み

市立図書館での子供の読書活動に関する取組においては、児童生徒向けはもちろん、保護者の方に向けたイベントにも注力し、特にコロナ禍においても「家読」に資するような事業開催を心がけています。

蔵書数	197,144点	うち子供用図書	68,499点
※蔵書に占める子供用図書冊数の割合	34.7%		
年間個人貸出冊数	362,075点	うち子供用図書	128,868点
※貸出に占める子供用図書冊数の割合	35.6%		

事例紹介

- ① “おはなしかい”等の事業
- ② 各種調べる学習支援事業
- ③ 公民館連携事業
- ④ アウトリーチ活動
- ⑤ その他特徴ある取組



まいにちおはなしかい

“まいにちおはなしかい”は定例のおはなし会に加え、原則図書館職員全員が担当し、館内「おはなしのへや」で毎日開催しています。
 ・各回2～3名のスタッフ
 ・毎日16時から 15分～30分間

【開催実績】平成29年：108回 666人 平成30年：236回 1344人
 令和元年：204回 937人 (以降コロナ禍で自粛中)

乳児から小学生まで幅広い層の参加があり、保護者の方の読書相談にも対応しています。



7

玉野deシネマ

『玉野deシネマ』は、移転にあたっての“市民運営ワークショップ”で提案いただいた事業です。

土日祝を中心に年間4～5回映画上映会を開催し、毎回多くの参加で好評いただいています。関連資料の展示・貸出や随時読み聞かせも実施し、資料の活用にもつなげています。

これまでの「主な上映作品」

- 『おまえうまそうだな』
- 『怒たま乱太郎の宇宙大冒険』
- 『うっかりペネロペ ペネロペ、かずをかぞえる編』
- 『ざんねんないきもの事典』など

平成30年： 4回 192人
 令和元年： 5回 244人
 以降コロナ禍で自粛
 → 令和5年8月
 再開予定



8

玉野海洋博物館連携講座「うみのいきものをろう」 チリメンモンスターを探せ!

玉野市立図書館と市立玉野海洋博物館（渋川マリナ水族館）との共同企画として開催。

“うみのいきものをろう”をテーマに、マリナ水族館の館長を講師に瀬戸内海の珍しい生物について学ぶ他、タッチングフル体験や「チリメンモンスターをさがせ!」などを開催し、夏休みの調べ学習として人気の講座となっています。



平成29年8月：2回 約100人
 平成30年8月：1回 47人
 令和元年8月：1回 47人

ミサワホーム南極越冬隊協力 「南極クラス」

調べ学習支援講座として、(株)ミサワホーム総合研究所南極越冬隊員に講師をご担当いただく講座を開催。きき、南極活動へ参加した経験や、南極の自然・動物を動画で紹介する他、風速実験や実際に南極の水に触れる等の実験をおこなう好評いただいています。



令和元年7月：36人
 令和3年1月：18人(※)
 ※リモート講師にて開催

子どもたちだけでなく、保護者の方にも一緒に楽しんでいただけています。

9

「こども司書養成講座」

本が好きで、読書への興味・関心が高い玉野市の子どもたちに、司書の仕事内容や図書館の裏側を知ってもらい、より図書館に興味を持ってもらいたいと企画しました。

例年実施している『図書館たんけん隊』よりも詳しく司書の仕事ができるような体験を取り入れ、新たに『こども司書養成講座』として開催し、修了した子どもたちは“こども司書養成講座修了証”を発行しています。



平成30年までは「図書館たんけん隊」として開催
 各回 約20人
 令和元年7月：11人

「ポブラディア ひゃっか王からの挑戦状」

“百科事典「ポブラディア」を使用した調べ学習支援イベント『ひゃっか王からの挑戦状』を実施。

“ひゃっかじてん編”・“宝物をさがせ!編”に会期を分けたり、わかりやすい表示の実施や全スタッフ用マニュアルを作成したりなどの工夫をおこない大変好評でした。コロナ禍による延期や、秋の読書週間事業での再開等もありましたが、多くの参加で喜んでいただけています。



令和3年8月：10～11月
 延べ69人

10

「えほんにでてくるおかしをつくろう!」

子供たちと保護者の方が料理を一緒にすることによってコミュニケーションが増え、ご家庭でも絵本にでてくるおかしを作っていたきたい、また、このイベントをきっかけに、本を好きになってもらい多くの本を読んでもらえればと考えて企画しました。

中央公民館の定期講座でお世話になっている先生に、子供でも簡単に作ることができるケーキ作りの講師を依頼しました。対象年齢は4歳～小学生、保護者の方と一緒にケーキを作る企画とし、公民館との連携事業として、非常に面白い取り組みであったと考えています。



午前・午後2回
 24組 57人

「ゲームクリエイターになろう!」

“青少年をターゲットとした新しい事業として、新たな図書館利用者の拡大と、調べ学習の面白さを伝える講座として、ゲーム制作会社に企画協力いただいていた開催しました。

申し込み時から大変好評で、参加者の満足度も非常に高い講座となりました。岡山をテーマに、図書資料を活用しながらゲームの企画制作に真剣に取り組む姿が印象的でした。



参加：63人
 現在「ボードゲームをしよう」を企画中

11

深山公園「伴」以庭園：Boooks and English Garden 本の交換会'ブックレード'他

“市内の庭園施設”深山イギリス庭園”で本や読書に親しむという企画。市民有志の団体、公園緑化協会と共催して、市内の文化施設が減少している中、既存施設で文化活動の活性化を図る趣旨で開催しました。移動図書館車の出張や、庭園各所でのテーマごとの本の設置、市長も参加された読み聞かせ、本の交換会“ブックレード”などが実現非常に面白いイベントとなりました。入園者は例年の約2倍、ブックトレードでは100冊以上が入れ替わり、アンケート結果も非常に好評でした。

令和元年から2回程度『○○○ and English Garden』の○○○部分を毎回変え、[Stage] [Music] 等を開催。リニューアルした移動図書館車“めばる号”も出張し、これまで以上に多くの来場者に喜んでいただけています。

地区自治会イベント『みんなのUNOフェス』

当館所在の宇野地区連自治会主催の初企画で、小学校校庭・体育館にて吹奏楽、フリーマーケット、クイズラリー等の多彩な催しが開催され、大変多くの方で賑わいました。

元は8月の盆踊り企画であったが延期となったもので、当館では本の展示・読み聞かせ・輸送員等スタッフ3名が協力参加し大変好評いただきました。



来場者：各回150名程度



12

あかちゃんパックの作成と提供

「あかちゃんと一緒に本を読みたいけど、何を読んでいいのかわからない」という方のために、初めての読み聞かせにオススメの幼児絵本10冊をセットにしたものです。

あかちゃんパックはそのまま自動貸出機で借りることができます。



併設ミュージアム連携 『夢のいきもの大募集!!』

全国の4~12歳の子供たち考えた「こないきものいたらいいな」をテーマに募集したイラストにつき、優秀作品を市内在住の著名イラストレーター内尾和正氏が描きおろしてプレゼントするシティブロモーション企画で、令和5年で9回目を迎えました。

例年150~500件もの応募があり、商業施設セントラルコートで表彰式を開催し、企画に合わせた特別展示も随時開催しています。



13

こどもプログラミング特別講座

小学生を対象に、タブレットPC内蔵のロボット『こくり』を用いて、実際にロボットを動かしながらプログラミングの基礎を学ぶ講座を開催。

参加者は各自のペースで取り組むことができ、最後はそれぞれの成果を発表し、認定証の授与もおこないました。参加者が楽しみながらも真剣に取り組む姿が印象的で、改めてプログラミングに対する関心の高さが伺えました。

毎年2~4回開催
各回5名程度



図書館ピングゴ(読書ラリー)

“こどもの読書週間”期間中、子ども達にたくさんのジャンルの本を楽しんで読んでもらおうと思い企画しました。また、子ども達に図書館の本は分類されて書架に並んでいることを知ってもらい、館内を巡りながら本の場所を覚えてもらうことも目的としています。

他にも『TAMANO de クエスト』と題して、児童フロアを中心に掲示したヒントをもとに館内をめぐり問題に答えるクイズラリー等も実施しています。館内デジタルサイネージの紹介と、その利用方法もヒントとなる様に工夫をこらしています。



年間1~2回
各回150~500人参加

14

サステナブルファッションを学んで ドールサイズドレスを作ろう!

講師に就実短期大学・生活実践科学科准教授をお迎えし、大学の授業でおこなわれている“サステナブルファッション”を学びながらドールサイズドレスを作る講座を開催。

素材と材料は先生にご用意いただいたほか、参加者の方にもお持ちいただきました。対象を小3~高3(18歳以下)としましたが、定員を大きく上回る申込があり、SDGsも関連した内容で大変好評いただけました。



参加：23人
(定員15人)

笑い文字体験講座

スタッフの発案で、地区在住の「笑い文字普及協会」中級講師の方を迎え、感謝の気持ちを伝える“笑い文字”を体験する図書館特別講座を開催しました。

父の日が近く、またコロナ禍の暗い雰囲気をお払拭する効果もあり、定員を大きく上回る申込みでキャンセル待ちとなるなど、非常に良い取り組みであったと考えます。



参加：10人
(定員10人)

15

これからも
まちの賑わい創出拠点
「つどう」「まなぶ」「むすぶ」
誰もが訪れたいくなる施設
を目標とし、利用推進・読書推進に努力して参ります。
ご清聴ありがとうございました。

16